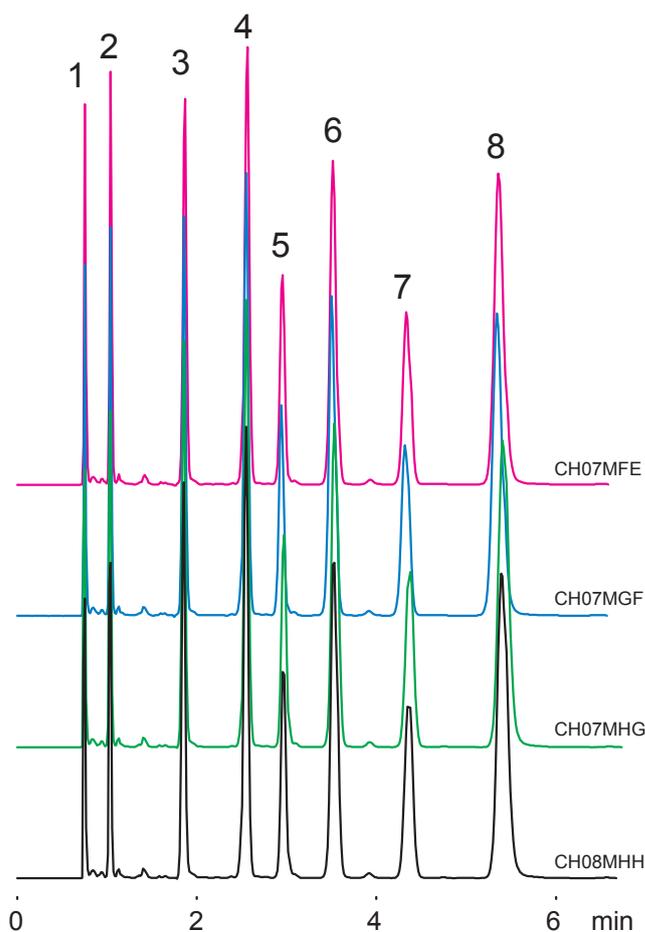


Cadenza CL-C18

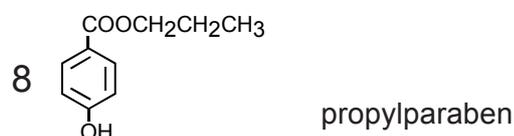
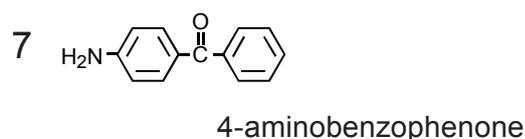
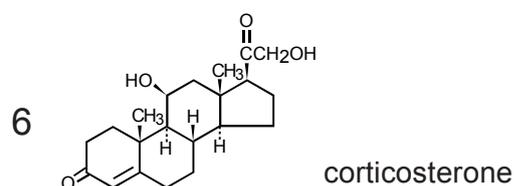
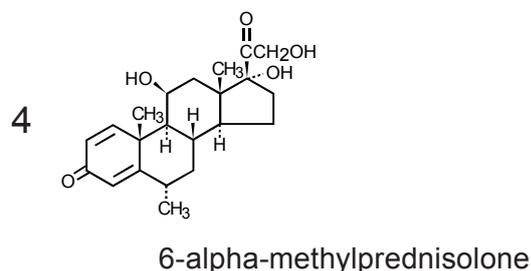
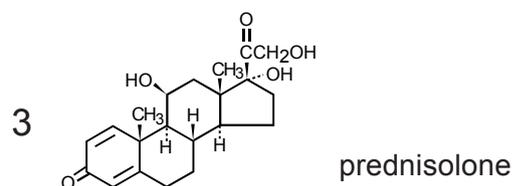
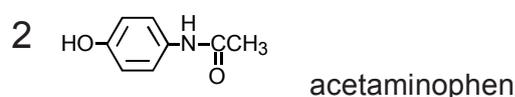
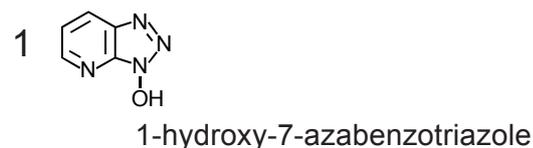
Technical

製造バッチ間の再現性(CL-C18)

シラノールを厳密に制御することで得られる高いバッチ再現性



Cadenza CL-C18, 75 x 4.6 mm
50mM ammonium acetate /ACN = 60 /40
1 mL/min, 37 deg.C, 250 nm



一般にシラノールを残存させたカラムはバッチ間の再現性を
得ることが難しく、シラノールを適度に残す技術はさらに難しいも
のとなります。

Cadenza CD-C18で開発した「ポリメリックエンドキャッピング」
手法を応用することにより、この難題を解決しました。上記のデー
タは、シラノールがあっても再現性の高い充てん剤が得られて
いることを証明しています。

従来製法とはまったく異なるODS, Cadenzaシリーズならではの、
世界初の「シラノール制御型ODS」カラムがCL-C18です。